

編集後記

私はインターネットや雑誌の星座占いにときたま目を通すくらいで、本格的な占い師のお世話になったことはない。信じないというわけではなく、そういう場所にわざわざ出かけて行く手間が面倒なのだと思う。

ただ、一度だけ、学生時代に韓国旅行をした際に、好奇心からシャーマンに手相をみてもらったことがある。将来は、「美術関係」か「先生」だと言われた。いまや博物館で働き、「先生」と呼ばれる身分になった。あたらずといえども遠からず。

「息子が二人生まれ、彼らは有名になる」とも言われたが、いまや娘一人、息子一人がいる。有名になろうが、なるまいが、占いの言葉にすがらず、運命は自分の手で切り開く大人になってほしい。

ところで、今号の編集会議当日、朝刊でレヴィ=ストロースの訃報を読んだ。101歳の誕生日を目前にしての大往生である。昨年11月号に、その偉業と民博とのつながりをふりかえった特集を小誌でも組んだが、生きながらにして、すでに運勢など超越してしまった聖域に達しておられる観があった。巨星墜つ。(山中由里子)

次号の予告

特集 **トラ**

月刊みんぱく

2009年12月号

第33巻第12号通巻第387号 2009年12月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 西尾哲夫
編集委員 久保正敏(編集長) 佐々木史郎 庄司博史
中牧弘允 信田敏宏 山中由里子
協力 財団法人 千里文化財団
制作 京都通信社
印刷 市蔵図書

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館企画連携係にお願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

みんぱくウィークエンド・サロン 研究者と話そう

- 予定時間 14時30分から15時30分(予定)。
- ★12月6日(日)は、11時から12時(予定)。
- 常設展示場観覧料が必要です。
- *都合により、予定を変更することもあります。

国立民族学博物館(みんぱく)の研究者が、来館された皆様の前に登場します!

「研究について」「調査している地域(国)の最新情報」「展示資料について」などなど、話題や内容は千差万別!

どんどん質問もおよせください。展示場でお待ちしています。

12月 **6** 日(日) **12** 月の開催

★この日のみ11時から12時(予定)

話者: **中牧弘允** (民族文化研究部教授)

話題: **カレンダーをめくり、めくるツアー**

場所: アメリカ展示



アンデスの暦。12か月の行事を紹介するもので日付を知るものではない

12月 **13** 日(日)

話者: **福岡正太** (文化資源研究センター准教授)

話題: **世界の太鼓 — 音楽展示新構築に向けて**

場所: 展示場内休憩所

12月 **20** 日(日)

話者: **鈴木七美** (先端人類科学研究部教授)

話題: **アメリカの〈懐かし〉の物語**

場所: 常設展示場内

12月 **27** 日(日)

話者: **岩佐光広** (研究戦略センター機関研究員)

話題: **老×老: ラオス低地農村部で「老いる」こと**

場所: 展示場内休憩所

1年間みんぱくに何度でも入館できる

「みんぱくフリーパス(3,000円)」をご利用ください。

常設展は何度でも無料で入館できます。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいあります。

- ◆特典◆常設展の無料入館◆特別展の観覧料割引
- ◆みんぱくミュージアム・ショップとレストランの10%割引
- ◆万博記念公園内および周辺施設での利用割引 など。

詳細については、財団法人千里文化財団までお問い合わせください。(電話06-6877-8893/平日9:00~17:00)



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分(茨木方面からは、もっとも近い「自然文化園・日本庭園中央」バス停で下車できるバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください)。
- 自家用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

